

【教室】

1 ママ教室

妊娠中や出産後の育児に対する知識の提供と妊婦同士の交流を通して安心して妊娠生活を送り出産を迎えることができるように実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 2回1コース 火曜日（年4回）
午前9時30分～11時30分
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 妊婦
- (4) スタッフ 助産師、保健師
- (5) 周知 母子健康手帳の交付時にちらし配布、広報、健康ガイド、ホームページ、うーみんナビ等
- (6) 内 容

	内 容
1 回目	講 話：こころとからだの変化、妊娠中の過ごし方、栄養 体 験：妊婦体操 交流会
2 回目	講 話：産後の生活と育児、母乳育児、授乳方法 体 験：赤ちゃんの抱き方、オムツ交換 交流会

<実施結果>

参加人数

(人)

実施月	4・5月	7・8月	10・11月	1・2月	計
1 回目	14	9	6	4	33
2 回目	14	9	7	10	40
計（延）	28	18	13	14	73

2 パパママ教室

親になる心構えや夫婦で協力して出産・子育てをする意識を持てるように実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 5・7・9・11・1・3月 土曜日（年6回）
午前9時30分～11時30分
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 妊婦とその夫
- (4) スタッフ 助産師、保健師、薬剤師
- (5) 周知 母子健康手帳の交付時にちらし配布、広報、健康ガイド、うーみんナビホームページ等
- (6) 内容 講話「夫婦で協力して育児」、陣痛緩和のテクニック、妊婦疑似体験、ミニ講話「お薬の話」、せんぱいパパママとの交流会

<実施結果> (人)

実施月	5月	7月	9月	11月	1月	3月	計
参加実人数(組数)	34 (17)	26 (13)	20 (10)	18 (9)	26 (13)	20 (10)	144 (72)

3 せんぱいパパママ教室

ママ教室及びパパママ教室に参加した夫婦の出産後の交流と保健師による育児相談の機会になっており、参加者同士での情報交換や育児不安の軽減になるよう実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 5・7・9・11・1・3月 土曜日（年6回）
午前10時10分～11時30分
(パパママ教室と同時実施)
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 ママ教室及びパパママ教室に参加した夫婦とその子
- (4) スタッフ 保健師
- (5) 周知 個別通知
- (6) 内容 フリートーク、体重測定、パパママ教室参加者との交流会

<実施結果> (人)

実施月	5月	7月	9月	11月	1月	3月	計
参加実人数(組数)	6 (3)	10 (5)	5 (3)	11 (6)	3 (2)	6 (4)	41 (23)

4 赤ちゃんサロン

地域の中で母親同士の交流や仲間づくり、身近な人へ相談等を行うことにより、母親の育児不安の軽減を図ることを目的に実施している。

<実施状況>

- (1) 実施期間 令和7年4月～令和8年3月（年28回）
- (2) 実施場所 市内7児童館
- (3) 対象者 乳児とその保護者
- (4) スタッフ 保健師、児童館職員、こんにちは赤ちゃん訪問員、主任児童委員
- (5) 周知 こんにちは赤ちゃん訪問時に案内配布、広報、児童館だより、うーみんなビ
- (6) 内容
 - ・母親同士の情報交換
 - ・親子遊び、絵本の読み聞かせ
 - ・保健師によるミニ講話（各児童館による）
 - ・計測（希望者）

<実施結果>

児童館名	実施回数(回)	参加延組数(組)	地区内参加組数(%)
おおつか児童館	4	25	12 (48.0)
みや児童館	4	49	25 (51.0)
ちゅうぶ児童館	4	47	30 (63.8)
がまごおり児童館	4	59	30 (50.8)
しおつ児童館	4	47	36 (76.6)
かたはら児童館	4	37	15 (40.5)
にしうら児童館	4	29	3 (10.3)
合 計	28	293	151 (51.5)

5 離乳食教室（前期）「もぐもぐ教室」

乳汁栄養から順次固形栄養に切り替え、咀嚼能力や味覚の形成の基礎をつくる離乳食の正しい知識を得られるように実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 毎月第3木曜日（年12回）午前10時～11時
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 5～6か月児とその保護者
- (4) スタッフ 管理栄養士2人、保健師、ヘルスメイト2人
- (5) 周知 広報、4か月児健診で案内配布、健康ガイド、ホームページ、うーみんなび
- (6) 内容 離乳食の進め方の話と作り方の実演、試食
保健師、管理栄養士による個別相談
- (7) 参加状況 延133組 1回平均参加組数11.1組

6 離乳食教室（後期）「カミカミ教室」

子どもの咀嚼能力に合わせて離乳食を進めることができるようにし、離乳食後期から幼児食へ移行できるように実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 毎月第2水曜日（年12回）午前10時～11時
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 9～10か月児とその保護者
- (4) スタッフ 管理栄養士2人、歯科衛生士、保健師、ヘルスメイト
- (5) 周知 広報、4か月児健診で案内配布、健康ガイド、ホームページ、うーみんなび
- (6) 内容 離乳食の進め方の話、試食
歯みがきの話
管理栄養士、歯科衛生士による個別相談
- (7) 参加状況 延130組 1回平均参加組数10.8組

7 1歳児教室

子どもの発達に合わせた遊び方や関わりが上手くできず、親子関係の希薄さや発達がゆっくりな子どもが増えている。生活リズムや親子の関わりが大切になってくる1歳の時期に、正しい生活習慣を確立させるとともに親が発達や遊びを知ること、親子の関わりを見直す機会とし、発達に応じた関わりができるように平成28年度より実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 毎月第4月曜日（年12回） 午前9時30分～11時30分
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 1歳児とその保護者
- (4) スタッフ 保健師4人、管理栄養士、看護師、子育てコンシェルジュ、事務職員
- (5) 周知 個別通知、広報、健康ガイド、ホームページ、うーみんなナビ
- (6) 内容 集団の話（生活リズム、発達・関わり方について）、親子遊びの紹介、計測、個別相談（希望者）

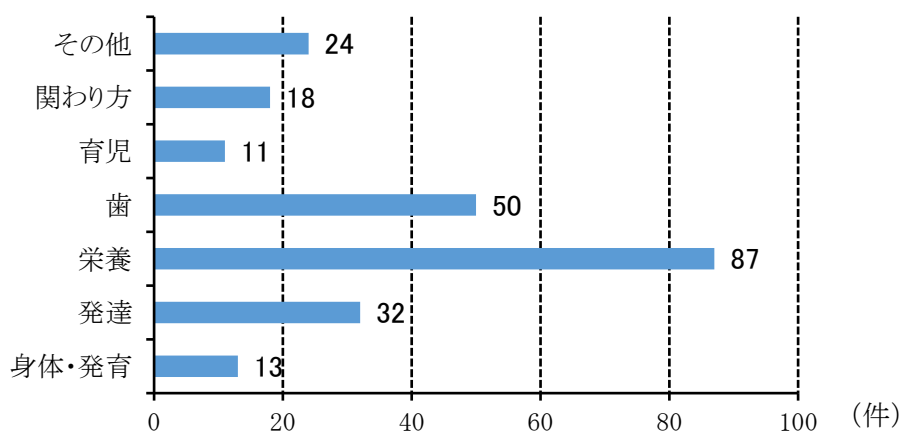
<実施結果>

(1) 参加者数

(人)

実施回数	対象者数	参加者数	参加率 (%)	相談希望者	相談率 (%)
12	452	316	70.0	163	45.3

(2) 相談内容（延件数）



8 2歳児教室

子どもの自我が発達し、親が対応に迷うことが多いと考えられる2歳の時期に、発達に応じた遊びや関わり方を知ること、保護者が自信をもって心豊かな子育てができるよう実施している。令和2年度から子育て支援センターの協力を得て実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 月1回金曜日（年12回） 午前10時～11時
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 2歳児とその保護者
- (4) スタッフ 子育て支援センター保育士、子育てコンシェルジュ、子育てボランティア2人、保健師
- (5) 周知 広報、1歳8か月児健診で案内配布、2歳児歯科健診案内に案内同封、健康ガイド、ホームページ、うーみんなび
- (6) 内容 体を使った親子遊びの紹介、大型絵本の読み聞かせ、パネルシアター、手遊び、ミニ講話（2歳児の特徴、生活リズム）、個別相談（希望者）

<実施結果>

参加状況 87組（1回平均 7.3組） 個別相談69件

9 多胎児サロン「にこにこママ」

多胎児は低出生体重児で生まれることが多いため何らかの障害を抱えるリスクが高く、保護者の育児負担も大きく虐待のリスクも高い。そのため、保護者同士の交流をはかり、保護者を支援するために実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 6月7日(土)、8月20日(水)、12月6日(土)、2月18日(水)
午前10時～11時（年4回）
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 多胎児（未就学児）とその保護者、多胎児を妊娠している方
- (4) スタッフ 保健師、子育てコンシェルジュ
- (5) 周知 個別通知、母子健康手帳交付時に案内配布
- (6) 内容 親子ふれあい遊び、交流会

<実施結果>

(組)

実施日	6月7日	8月20日	12月6日	2月18日
参加組数	6	5	7	3

10 1歳8か月児健康診査事後教室「なかよし広場」

集団活動を通して児の発達を促すとともに、保護者が児への関わり方を学ぶ教室として実施している。参加から6か月後に評価を行い、教室卒業後の方針を決定して地域の療育関係機関や子育て支援機関等と連携を図りながら実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 毎月第2・4水曜日(年23回) 午前10時～11時20分
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者
 - ・1歳8か月児健康診査受診者のうち、対人面・言語等の精神発達、育児・環境等に不安を抱え、集団指導が適当と思われる者
 - ・上記以外で、保健師が必要と判断した者
- (4) スタッフ 保健師2人、心理相談員1～2人、保育士4～5人、子育てコンシェルジュ、託児ボランティア1～4人
 <講師>子育てコンシェルジュ、保育士、保健師、児童発達支援センター(にこりん)センター長、豊橋あゆみ学園言語聴覚士・作業療法士
- (5) 内容 集団遊び、自由遊び、保護者の勉強会、個別相談

<実施結果>

- (1) 実施回数及び参加組数 (組)

実施回数	実参加組数	延参加組数	1回平均参加組数
23	62 (17組は前年度からの継続)	375	16.3

- (2) 初回参加年齢別内訳 (人)

年齢	1歳8か月～ 1歳11か月	2歳0か月～ 2歳5か月	2歳6か月～ 2歳11か月	3歳0か月～ 3歳5か月
人数	7	36	15	4

- (3) 教室卒業後のフォロー状況 (組)

フォロー状況	組数	フォロー状況	組数	フォロー状況	組数
地区担当保健師 フォロー	12	療育へ ※1	13	ひこうき・いるか ぐみへ ※2	15
入園	9	転出先へケース連絡	2		

(令和8年度継続参加組数：11組)

- ※1 継続的に集団の場での密な関わりが必要な児には、母子通園施設「ふれあいの場」や児童発達支援センター(にこりん)、児童発達支援施設「希望の丘蒲郡」を紹介
- ※2 入園前に小集団で関わりの経験が必要な児には、母子で集団の体験ができる場として形原北保育園「ひこうきぐみ」、三谷西保育園「いるかぐみ」を紹介